



日本共産党 市議会報告



2012年10月1日 第1227号
【発行】
日本共産党浦安市議団
市役所内控え室(議会棟1階)
☎&FAX (350)1243

子育ても老後も安心
住み続けたい浦安を



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎355-8526
minamonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

新庁舎 建設

着々とすすむ計画 事業手法・変更内容を公表

工事内容によっては、設計

事業手法 デザインビルド方式

新庁舎建設計画は、2009年1月に、市長から「一時中断」宣言が出されて以来、中断されていた。一時中断は「本市を取り巻く日本の不透明な経済状況」「選挙を取り巻く政局の流動化」などを理由にしたものでした。ところが、今年度当初予算に基本設計費用など約1億7500万円を計上し、建設計画は再開されました。平成20年度時点の基本計画を見直し次のようにしたこと

設計費用など 1億7500万円計上

災害復興の遅れに苛立ち、新庁舎建設より災害復興が先ではないかと新庁舎建設を急ぐ浦安市への批判の声は広がっていますが、浦安市の検討作業は着々と進んでいます。
先週27日、市議会全員協議会が開かれ、新庁舎建設の基本設計の検討状況が市当局から報告されました。

建築概要 主な変更点

	平成20年度	平成24年度
階数	地上11階	地上10階 中2階の取り止め
延べ面積 (㎡)	約25,500	約24,000 現在の約2倍
エスカレーター	6台	0台 設置しない

と施工を一体的に発注する方が有利な調達が期待できる場合があるとして、事業手法は「デザインビルド方式」(設計・施工一括発注方式)を採用し、事業者選考は「総合評価方式一般競争入札」とすることを検討委員会決定したと発表しました。

安保条約をなくしてこそ 平和的安全保障がつけれます

日本共産党 衆議院比例代表 南関東ブロック予定候補



元参議院議員
畑野君枝



党衆議院議員
志位和夫

安保条約の10条通告で
米軍基地はなくせませす

- 検討内容は今後、変更も予想されるとしながら、以下のような計画内容が提示されました。
- ※地階は設けない
 - ※一階に市民プラザを配置
 - ※建物中央に、最上階まで貫く吹き抜け(アナトリウム)を設ける
 - ※理事部門の直近階に防災拠点機能を配置
 - ※一般事務室に天井は張らず、高さを2.8mとする(裏面に続く)

検討過程をガラス張りに

市民の合意は得られた？



なぜ市は新庁舎建設を再開

するのか、その理由を「東日本大震災を契機に首都圏直下での大震災発生率がさらに増大し、その早急な対策が求められている」として「災害時の防災拠点としての庁舎の重要性」「災害時においても市役所機能を維持する必要性」などを挙げています。

しかし、震災後の優先すべき行政課題は山積し、巨額の税金投入となる庁舎建設を急ぐ必要性についての市民合意は得られていません。

免震構造

耐震性能は

震度6強〜7

防災拠点としての役割を發揮するために、新庁舎にどの程度の耐震機能を付加するについて、「震度6強から震度7程度の地震を想定し、まれに起る巨大地震でも利用できる性能」とし、「免震構造」とす

る方針を示しました。

なぜ「デザインビルド方式」か？

「デザインビルド方式」を事業手法とする理由は次の通りです。

「現在の庁舎を使用しながら既存施設の解体、新庁舎の建設、引越し後に既存庁舎の解体などがあり、解体も含めた施工方法、安全管理が重要になること、また免震構造であることや基準階の面積が大きく、規模も約2万4000㎡と大きいことなどを考え合わせると、『デザインビルド方式』での発注は、施工業者のノウハウを設計の段階から生かすことで、良好な安全管理と堅牢でメンテナンス性の良い建物が期待でき、工期短縮やコスト削減が図れ、かなり有利な調達方法である」

配置計画図

